

# ちいきのたから 12月号

『楽しく学べる環境づくり』まずは 挨拶から!!



実りの多い2学期もはや最終月の12月を迎えます。修学旅行や合宿に遠足。運動会に持久走大会。行事を重ねるごとに心も身体も大きく成長していく子ども達の姿に、『地域のたから』として逞しく健やかに育てほしいと願わずにはいられません。コロナ禍となって3年目…我慢続きの子ども達に地域の大人として、ささやかでも記憶に残る楽しい思い出作りのお手伝い如果能たら…と思います。

子ども達の  
未来を  
明るく照らす

## イルミネーションが点灯!!【五間堂町】

五間堂町の8号線交差点花壇に、子ども達が保護者や地域の大人達と一緒に作った素晴らしいイルミネーションが点灯し、“光のオブジェ”としてドライバーをはじめ、たくさんの人々を楽しませています。

コロナ禍で町内の催しが相次いで中止となる中、町内会長の澤田さん（CS・学校運営協議会委員）を中心に、地域でも子ども達に楽しい思い出を作ってあげたいという一心で、デザインから制作まで、一緒にコツコツ丁寧に取組んできました。イルミネーションのデザインは、ふるさとの象徴である「白山」「手取川」「日本海」と豊かな田園風景を表し、5色の虹のトンネルは、五間堂町の『五』また、九谷焼に使われる『五彩』を表しています。

10/30の点灯式には、井出市長と藤本校長も臨席され、ハロウィンの衣装をした子ども達が、6年生を中心に挨拶や点灯など、町の代表としてそれぞれ立派に役割を果たしていました。イルミネーションの制作にあたっては、子ども達や保護者の作業がスムーズに進むよう、陰でその何倍もの準備に取り組まれた方々の並々ならぬ努力があり、完成の喜びはひとしおだったことでしょう。



このような経験が自己肯定感を高め、ふるさとを愛し、大人になった時に町を誇りに思う心の醸成に繋がります。大切な未来の担い手である子ども達に地域の大人達として、“今できる事”と一緒に考え、一緒に行動する大切さを今一度、考えていきたいと思ひます。